

『ケーキがやけたら、ね』  
ヘレン・オクセンバリー／さく  
ひょうろんしゃ  
(評論社)



「きょうはあたしのたんじょうびなの。  
ケーキをやくのよ。」女の子のために動物たちがケ  
ーキの材料をあつめてきてくれました。さあ、ケーキを  
やきましょう。おもわず笑顔になる絵本です。

『おたんじょうび、おことわり?』  
ボニー・ベッカー／ぶん  
ケイディ・マクナルド・デントン／え  
いわさきしよてん  
(岩崎書店)



今日はクマのたんじょうび。でも、たんじょうびがき  
らいなクマは、パーティーをひらくこともせず、いそが  
しそくに家のそらじをするばかり。そこへネズミがや  
ってきますが…。お祝したいネズミと、たんじょうび  
がきらいなクマのかけあいが楽しいお話です。

『だってだってのおばあさん』  
さのようこ  
佐野 洋子／さく・え  
かん  
(フレーベル館)



「だってわたしはおばあちゃんだもの」がくちぐせの  
おばあさんは、今日が99さいのたんじょうび。とこ  
ろが、ケーキにかざるために用意できたロウソクは、  
たったの5本。「5本だってないよりましさ」とケー  
キにロウソクをかざると、そこからすてきなことが…。



『江戸の子ども行事とあそび12か月』  
えど こ ぎょうじ  
菊地 ひと美／[作] (偕成社)

江戸時代の子もたちは、毎日どんな  
遊びをしていたんだろう? 月ごとの行事にあわ  
せて、昔のいろいろな遊びを紹介します。今でも続  
いている遊びがたくさんありますよ。



『おたんじょうびまであとなんにち?』  
アンバー・スチュアート／文  
レイン・マーロウ／絵 (徳間書店)

もうすぐ、こねずみのチュウのたんじょう  
び。「あといくつねたら、おたんじょう  
びになるの?」とたずねながら、毎日  
少しずつパーティーの準備をします。  
たんじょうびをむかえるまでのわくわく  
する気持ちが伝わるお話です。



『おばあちゃんのおせち』  
『おばあちゃんのななくさがゆ』  
『おばあちゃんのえほうまき』  
『おばあちゃんのひなちらし』  
『おばあちゃんのおはぎ』  
のむら たかあき／作・絵  
こうせいしゅつぱんしゃ  
(佼成出版社)

きりちゃん、おばあちゃんから行事の  
ことを教えてもらいながら、いっしょにお  
りょうり料理をつくりまします。お正月のお節、春の  
ななくさ、せつぶん、えほう、ひなまつり  
のちらしずし、お彼岸のおはぎ。材料と  
つくりかたものっているので、実際につく  
ってみることもできるシリーズです。

えべつし  
じょうほう  
としょかん

# きょうはなんのひ?

がテーマのえほん

へいせい  
29ねんど!

おすすめ  
えほんリスト  
29冊

2017 子どもの読書週間・2017  
4/23~5/12

小さな本の大きな世界  
2017・第59回 子どもの読書週間  
4.23~5.12

『くまのこのとしこし』  
たかはし かずえ さく  
高橋 和枝／作  
こうだんしゃ  
(講談社)



お母さんから「としごとが終わったら、「らいねん」が  
くるのよ」と聞いた、くまのこ。家族で「らいねん」  
をむかえるために大そらじをしたり、買いものに行  
ったり…。でも、「らいねん」ってなんだろう?

『せつぶんのひのおにいっか』  
あおやま ともみ さく  
青山 友美／作  
こうだんしゃ  
(講談社)



人間の家にすんでいる鬼一家。  
いつもはのんびりしているのに、「あしたは節分」  
と聞いた鬼の父さんと母さんは、なんだかとても  
いそがしそう。みんなの家にも、こんな楽しい  
鬼の家族がいるかも?

『開運えほん』  
かんべ あやこ／作  
しよぼう  
(あかね書房)



お正月に登場する縁起のいいものが大  
集合! かどまつ、かがみもち、おぞう  
に、おみくじ…。お正月をもっとよく知っ  
て楽しくすごそう!

『十二支のお節料理』  
かわばた まこと さく  
川端 誠／作  
しゅつぱん  
(BL出版)



新年を祝うお節料理を  
つくるため、年神さまは十二の動物たち  
の係をきめました。ねずみはそうじと正  
月かざりの係、牛は田畑でとれた食べ  
ものを運ぶ係…。みんなで力をあわせ  
て、すてきなお正月をむかえましたよ。

『オニたいじ』  
もり え と さく  
森 絵都 / 作  
たけうち つらが え  
竹内 通雅 / 絵  
きん ほししゃ  
(金の星社)



いつもは鬼のお面をつけたおじさんをやっつけている節分の豆たちが、「ほんもののオニをたいじしよう！」と、町のどろぼうや銀行強盗めがけて体当たり。勇気ある豆たちは、アフリカや宇宙まで飛んでいきます！

『おばあちゃんのひなまつり』  
けら こ さく  
計良 ふき子 / 作  
あいの や ゆき え  
相野谷 由起 / 絵  
(ひさかたチャイルド)



ひなまつりは、おばあちゃんのたんじょうび。お祝いにくるはずのみんながこられなくなってしまって、おばあちゃんがひとりで甘酒をこくりこくりと飲んでいると、ふすまがいて女の子の声を…。春のふしぎなお話です。

『たなばたまつり』  
まつなり まりこ さく  
松成 真理子 / 作  
こうだんしゃ  
(講談社)



もうすぐ一年に一度のたなばたまつり。いろいろな人たちが、たんざくに願いごとを書いためいばにやってきました。たなばたまつりのようすをやさしく描いた絵本です。

『たなばた』  
きみしま ひさこ さいわ  
君島 久子 / 再話  
はつやま しげる が  
初山 滋 / 画  
ふくいんかんしよてん  
(福音館書店)



中国の昔話です。しっとりとした文とつくりくしい絵でつづられる「うしかい」と「おりひめ」の物語。読み終わると静かな気持ちになって、夜空を見上げたくなる一冊です。

『トちゃんとたまご イースターのおくりもの』  
ほんま えぶん ちゅうおうしゅつばんしや  
本間 ナナ / 絵文 (中央出版社)

イースターが近づくと、うさぎの家族は大いそがし。イースターのたまごをつくって、みんなにとどけなければいけません。小さな末っ子のトちゃんは、無事にたまごをとどけられるでしょうか？

『ひなまつりのちらしずし』  
みやの さとこ さく  
宮野 聡子 / 作  
こうだんしゃ  
(講談社)



ひなまつりの日、きみちゃんは、お母さんとちらしずしをつくることになりました。ちらしずしの材料には、ひとつひとつ意味があります。どんな願いがこめられているのかな？

『まんまるいけのおつきみ』  
かとう まふみ / 作  
こうだんしゃ  
(講談社)



池から顔をだすとしんでしまおうと思っている魚たち。でも、外の話聞いたナマズのぼんたは、どうしてもお月見をしたくなります。かめのおいさんに教えてもらって“つくん”をはじめめるぼんた。さて、はじめてのお月見はできたのでしょうか？

『ぼんちゃんのぼんやすみ』  
あおき ひろえ / 作  
こうだんしゃ  
(講談社)



ご先祖さまの霊が帰ってくるお盆がやってきました。おばあちゃんの家、に里帰りしたぼんちゃん一家は、ご先祖さまの霊をむかえる準備をはじめます。この一冊でお盆のすごしかたがわかりますよ。

『こねこのははのひ』  
やすい すえこ / 作  
しのざき みつお / 絵  
きょういっくがげき  
(教育画劇)



母の日のことを知った、3びきのこねこ。ぼくらは母さんに「大好き」と「ありがとう」を伝えたい！プレゼントをさがして町を走りまわる3びきがみつけた、すてきなものは…？

『このぼりぐんぐんこどもの日！』  
ますだ ゆうこ / 作  
たちもと みちこ / 絵  
ぶんけいどう  
(文溪堂)



からだ弱くてなかなか外で遊べない男の子が、このぼりの背中に乗って大空へ！冒険しながら「こどもの日」や「このぼり」のことも勉強できちゃう絵本です。

『ハロウインのランプ』  
こばやし こ  
小林 ゆき子 / さくえ  
いわさきしよてん  
(岩崎書店)



ハロウインにはかぼちゃのランプがつきものです。なぜって、おばけはランプの光が苦手だから。クラスで一番こわいかぼちゃのランプをつくらうとしたジーナですが…。おばけがいっぱいできますよ。

『いたずらジャック』  
いぬかい ちよ  
犬飼 さやか / 著  
しんふうしゃ  
(新風舎)



いたずらジャックは、かぼちゃのおばけ。「もっとびっくりするいたずらをして」といわれたジャックは、とびっきりのいたずらを考えます。子どもたちがびっくりぎょうてん、おお大よろこびしたいはずらって、どんなもの？

『たなばたセブン』  
『おしょうがつセブン』  
もとした いづみ / 作  
ふくだ いわお / 絵  
せかいぶんかしゃ  
(世界文化社)



空を飛んでやってきた“たなばたセブン”。たなばたの日が晴れるように、てるてるぼうずをたくさんつくりまわす。でも、どうしてたなばたには雨がふつちやいけないうらさる？ お正月の楽しい遊びがわかる『おしょうがつセブン』もおすすめ！

『イオマンテ めぐるいのちの贈り物』  
りょう みちこ ぶん  
寮 美千子 / 文  
こばやし としや が  
小林 敏也 / 画  
(パロル舎)



アイヌ民族の熊送りの儀礼「イオマンテ」を、熊のカムイ（神）とアイヌの男の子の二つの視点から、えがきくひんくまわかかなおとこ、こきもちがいたつたおもじっかん、いっさつ重みを実感できる一冊です。